



エコアクション21  
認証・登録番号 0003240

エコアクション21

# 環境活動レポート

平成20年4月1日～平成21年3月31日



平成21年5月31日



株式会社 **西鉄グリーン土木**  
土木事業本部

旧 株式会社 西鉄土木



# 環境活動レポート 目次



**環境方針**



**組織の概要**



**環境目標とその実績**



**主要な環境活動計画の内容**



**環境関連法規への違反、訴訟等の有無**



**環境活動の取組結果の評価**





## 環境方針

### 環境方針

西鉄グループの企業理念において

『にしてつグループは「出会いをつくり期待をはこぶ」事業を通して、“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展します。』が基本理念です。

よって当社は、

『環境において“あんしん”と“かいてき”を提供しつづけ、地域および社会とともに歩み、ともに発展します。』

を環境方針とします。

その実現のために下記の事項に積極的に取り組めます。

1. 環境法令を順守する
2. 建設公害をなくし、地域住民との共生を図る
3. 地球温暖化防止に寄与する
4. 省資源・省エネルギーの推進
5. 廃棄物のリサイクルを推進する
6. 節水活動の推進

制定：2007年5月1日

改訂：2008年1月1日

株式会社 西鉄土木  
代表取締役社長 大淵 充博



## 組織の概要

事業所名	株式会社 西鉄土木 【現在】株式会社 西鉄グリーン土木 土木事業本部
代表者名	代表取締役社長 大淵充博
所在地	〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町81番地4
環境管理責任者	総務部長 : 井上 英介
担当者氏名	ISO事務局 : 八木 ひとみ
連絡先	TEL : 0942-38-6656 FAX : 0942-35-7966 Eメールアドレス : <a href="mailto:inoue@ngd.nnr.co.jp">inoue@ngd.nnr.co.jp</a>

事業の内容 福岡県知事許可(特-17)第22773号

- ・土木工事業 ・建築工事業
- ・とび・土工工事業 ・舗装工事業
- ・塗装工事業 ・水道施設工事業
- ・鉄道工事の施工

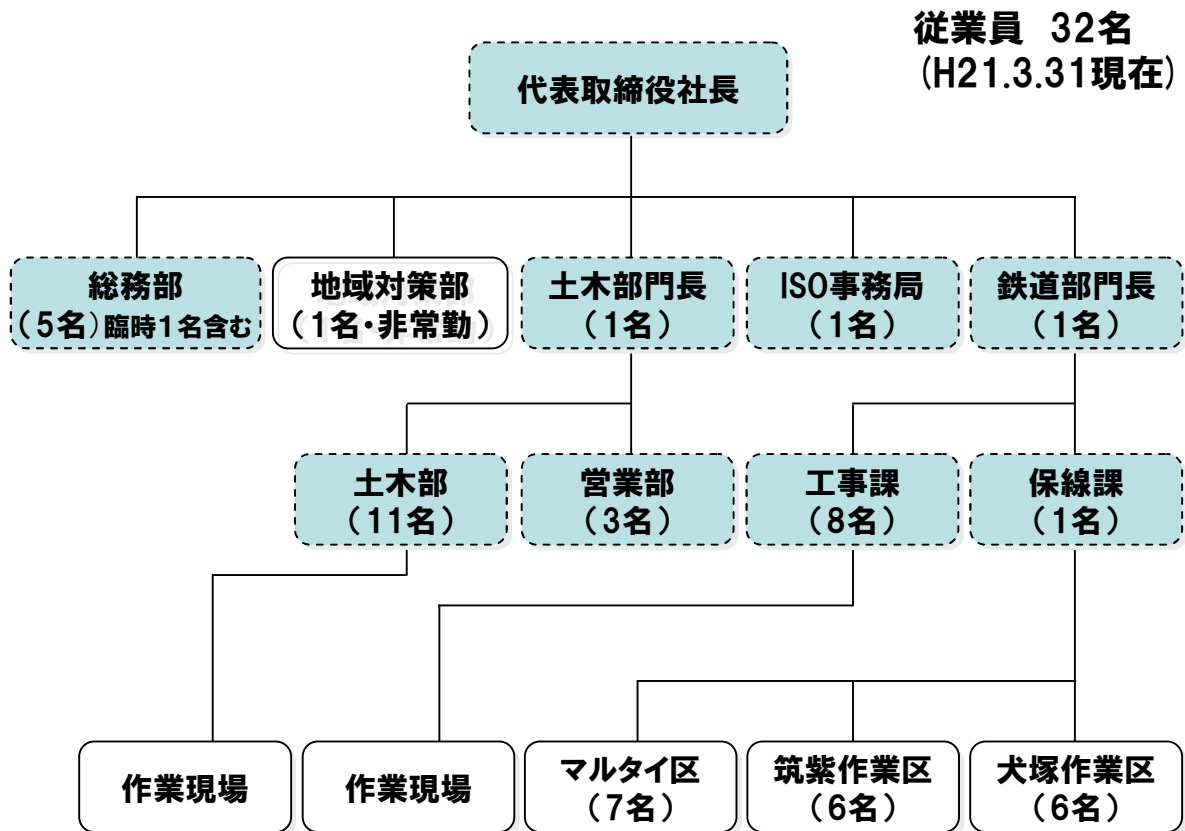
事業の規模 設立 : 昭和51年12月  
資本金 : 4,000万円

事業年度		(4月~3月)	(4月~3月)	(4月~3月)
	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度
売上高	百万円	1,343	1,529	1,634
従業員数	人	29	46	50
床面積	m <sup>2</sup>	476.38	476.38	476.38





## 組織図

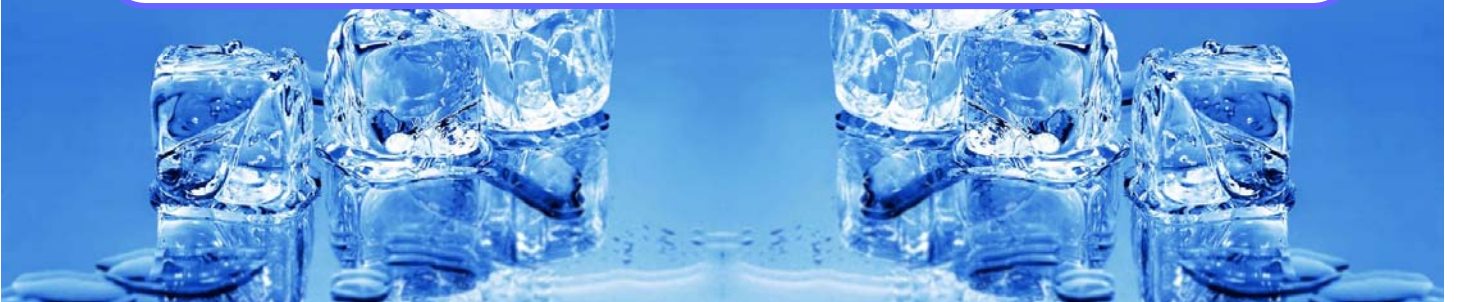


 エコアクション21 認証範囲

\*当社と西日本鉄道株式会社との業務委託契約で、上記マルチ班（線路搦固め作業7人）、犬塚作業区（線路補修業務6人）、筑紫作業区（線路補修業務6人）の3事業所は、西日本鉄道株式会社の構内に常駐し、水道光熱費はその管理下の基で線路保守業務を行っている。

よって上記3事業所は当社のエコアクション21認証範囲から除外して従業員数にも含めていない。

但し環境方針の周知や環境教育等は当社で実施している。







# 環境目標とその実績

## 1. 環境目標

		H20年度	H21年度	H22年度
【事業所】		H18年度比1%削減	H18年度比2%削減	H18年度比3%削減
	・電気使用量	41,169kw	40,753kw	40,337kw
	・ガス使用量	81.8m <sup>3</sup>	81.0m <sup>3</sup>	80.2m <sup>3</sup>
	・水道使用量	300m <sup>3</sup>	297m <sup>3</sup>	294m <sup>3</sup>
【作業現場】		H18年度比3%削減	H18年度比4%削減	H18年度比5%削減
	・一般廃棄物	12,160ℓ	12,038ℓ	11,913ℓ
		H18年度比1%削減	H18年度比2%削減	H18年度比3%削減
	・自動車燃料	18,806ℓ	18,615ℓ	18,425ℓ
		H18年度比3%削減	H18年度比3%削減	H18年度比3%削減
・産業廃棄物	2271 t	2270.9 t	2270.9 t	
	年間5件以内	年間4件以内	年間3件以内	
・建設公害の削減				

## 2. 目標の達成状況

当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、平成19年5月から環境活動に取り組んできたため、環境目標は、平成18年の実績数量を基準とした。

## 3. 目標の実績

環境目標項目		単位	部門	平成18年度 (4月～3月) 実績数量	平成19年度 (4月～3月) 実績値	平成20年度 (4月～3月) 実績値	目標値	目標に対する 削減率	平成20年度実績 /平成19年度比 削減率
購入電力		kwh	事業所	41,585.0	44,993.0	37,395.0	41,169.2	-9.2%	-16.9%
化石燃料	ガス	kg	事業所	171.2	183.0	179.5	169.5	5.9%	-1.9%
	ガソリン	ℓ	作業現場	17,483.4	17,553.0	16,682.6	17,308.6	-3.6%	-5.0%
	軽油	ℓ	作業現場	1,512.4	949.5	1493.7	1497.3	-0.2%	57.3%
二酸化炭素計				68,155.2	68,764.3	69,598.5	67,473.6	3.1%	1.2%
総排水量		m <sup>3</sup>	事業所	303.0	327.0	332.0	300.0	10.7%	1.5%
一般廃棄物		ℓ	事業所	—	—	8,820.0	12,160.0	-27.5%	—
産業廃棄物		t	作業現場	2,341.2	3,454.8	2,948.0	2,271.0	29.8%	-14.7%
建設公害		件	作業現場	—	—	3.0	10.0	-70.0%	—

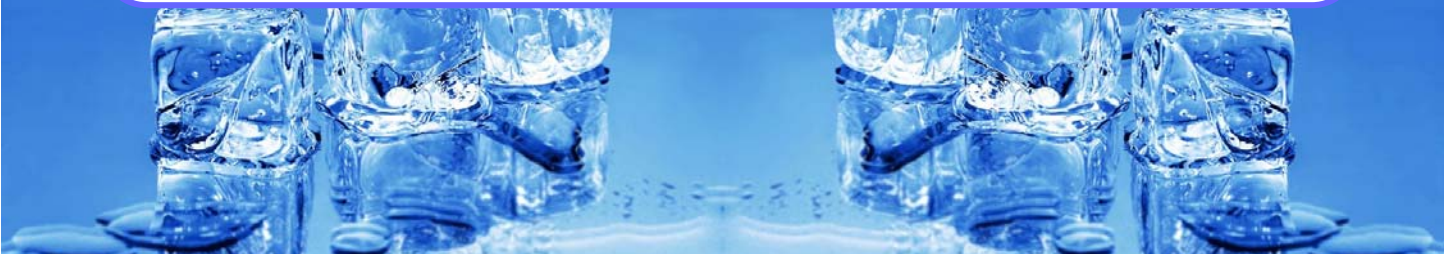




## 主要な環境活動計画の内容(1)

取組内容	部門	環境活動計画
<b>1. 二酸化炭素排出量削減のための取組目標と取り組み方法</b>		
(1) 電気使用量の1%削減	事業所	① エアコン温度を夏28℃・冬20℃と設定する ② 昼休みの消灯 ③ クールビス・ウォームビスを励行する ④ こまめなスイッチOFF (エアコン・電灯・パソコン)
(2) ガス使用量の1%削減		① 適切な使用
(3) ガソリン・軽油使用量の1%削減	作業現場	① アイドリングストップの励行 ② 急加速の抑制 ③ 車内冷暖房の控え目使用
<b>2. 総排水量削減のための取組</b>		
(1) 水道使用量の1%削減	事業所	① 節水運動、流しっ放しにしない
<b>3. 廃棄物排出量削減のための取組</b>		
(1) 一般廃棄物の3%削減	事業所	① 裏紙使用の周知徹底 ② 両面印刷の励行 ③ 社内会議資料はプロジェクターを使用する ④ 印刷プレビュー活用してミスプリント防止
(2) 産業廃棄物の3%削減	作業現場	① 現場での再利用に努める ② 排出前の水切り

※削減目標は平成18年度比の削減率





## 主要な環境活動計画の内容(2)

### 4. 建設公害の削減のための取組

<p>(土木部) 年間クレーム件数 5件以内に抑える</p>	作 業 現	<ul style="list-style-type: none"><li>① 騒音・振動を軽減する機械と工法の選択に努める</li><li>② 防音・遮音や防振の設備を設置する</li><li>③ 粉塵飛散防止の設備を設置する</li><li>④ 工事による水質汚濁、油流失防止する</li><li>⑤ 現場内、周辺道路の清掃と散水を励行する</li><li>⑥ 約束した作業時間を厳守する</li><li>⑦ 地元の意見を取入れる</li><li>⑧ 地元の理解を得る</li><li>⑨ 工事において、早めの工事説明を行う。(作業員含む)</li><li>⑩ お客様の要望は早めに返答する。(上司に相談する)</li><li>⑪ 設計図書を熟知する。</li></ul>
<p>(鉄道部) 達成手段を実施した工事 でのクレームを5件以内に抑える 達成手段を実施しない工事での クレームは0件とする</p>	場	<ul style="list-style-type: none"><li>① 騒音・振動等の発生が小さくなる方法を採用する</li><li>② 騒音・振動等の遮断方法を考え、採用する</li><li>③ 周辺調査し、クレームが出ない工程を採用</li><li>④ 地元の理解を得るための活動を行う</li><li>⑤ 過去のクレーム箇所は対応策を採る</li></ul>

※削減目標は平成18年度比の削減率

## 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連法規への違反はありません。

また、過去3年間関係当局より違反の指摘、訴訟等はありません。







## 環境活動の取組結果の評価

目標に対する実績を次のとおりであった。

電気使用量	7月単月は目標値をオーバーしたが、累計ではクリアした。エアコン新品代替の効果があり、年間目標2006年比1%削減の目標に対し、10%削減できた。
ガソリン・軽油使用料	4月、6月、7月、9月、2月の5ヶ月が月別目標をオーバーしたが、全体的には節減努力により累計ではクリアした。年間目標2006年比1%削減の目標に対し、4%削減できた。
ガス使用量	6月～8月、11月～3月の8ヶ月が月別目標をオーバーし、また累計でもオーバーした。年間目標2006年比1%削減の目標に対し、5%オーバーした。 夜間工事に伴うシャワー利用の増加が要因の一つと考えられ、今後の節水・適切利用の対策を講じたい。
二酸化炭素排出量	2008年は現場の電力、灯油の使用量を把握し、そのため全体では2.1%増加となった。
水道使用量	4月～9月、12月～1月の8ヶ月が月別目標をオーバーし、累計でもオーバーした。年間目標2006年比1%削減の目標に対し、9.6%オーバーした。 上記ガス使用量と同じく、シャワー利用の増加が要因と考えられる。引き続き節水利用を奨励する。
一般廃棄物	3月の月別目標をオーバーしたが、累計ではクリアした。ごみ分別の徹底を呼びかけ年間目標2006年比3%削減の目標に対し、30%削減できた。分別廃棄によるリサイクル資材の有効活用の効果が大きい。
産業廃棄物	総排出量1.690t/百万の目標に対し、1.809t/百万と7%オーバーした。工事内容により産廃量の変動するが、型枠については可能な限り再利用を引き続き奨励する。
建設公害	達成手段を怠ったのクレームは0件に対し、達成手段を行ったが全体で3件発生した。全てにおいて是正処置を行い再発防止に取組んだ。

